

三重の

生きものだより

第35号



和名：コノシメトンボ
学名： *Sympetrum baccha matutinum*

秋に見られるトンボといえば、ほとんどの人が「アカトンボ」と答えるだろう。真っ赤な体をしたアカトンボが群れ飛ぶ姿は、童謡「赤とんぼ」で親しまれているように、日本の秋の美しい風景を代表するものである。しかし「アカトンボ」という種名のトンボは存在せず、通常はトンボ科アカネ属のトンボを総称して呼んでいる。代表的なものでは秋に平地に出現するアキアカネが知られているが、他のアカネ属のトンボと区別するのは専門的な知識がないと難しいようだ。

一方でコノシメトンボは羽の先が黒い特徴的な姿をしており、比較的簡単に見分けることができる。羽の先が黒いアカネ属のトンボにも数種が存在するが、頭・胸・腹の全てが真っ赤になるのはコノシメトンボだけである。秋を代表するトンボとして深い赤紅色がとても印象的だ。